

古川黎明高等学校で講演しました(2017/4/25)

テーマ：スーパーサイエンススクール
場所：宮城県古川黎明高等学校（大崎市）

4月25日（火）に、宮城県古川黎明高等学校にて「SS 総合Iプロローグ講演会」が開催され、当研究所の佐藤翔輔助教（情報管理・社会連携部門）が講演を行いました。同校は、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）の指定校の一つです。SSHは、科学技術振興機構（JST）の事業で、高校等の先進的な理数教育、高大（高校－大学）の接続や共同研究を実施するための支援制度です。同校の1年生は、SSHにおけるカリキュラムにおいて、総合的な学習時間のなかで、今後1年間、「課題研究」を実施することになります。今回の講演会は、「プロローグ講演会」ということで、今後「課題研究」を行う上での基礎的な知識やコツ・ポイントについて知るために開かれたものになります。

佐藤翔輔助教は、「災害科学とは何か－よりよい課題研究に向けて－」というタイトルで、災害科学の最も基本的な考え方や、災害科学におけるこれまで同校生徒が取り組んできた課題研究の位置づけ、実践的な防災研究の事例、今年度の課題研究に向けて考慮すべきことに関する解説・紹介を行いました。講演会には、全1年生の約200名が参加しました。現2年生および3年生は、これとほぼ同じ講演のほか、「エピローグ講演会」として、課題研究のふりかえりワークショップを行っています。今回の新1年生の講演会では、先輩のふりかえりを踏まえて、課題研究の良さ・注意すべき点の紹介も併せて行いました。



講演の様子



講演会に参加している生徒さんの様子

文責：佐藤翔輔（情報管理・社会連携部門）